

平成 29 年度第 5 回課長会議

| | |
|-------|------------------------|
| 開催日時 | 平成 29 年 8 月 10 日 (木) |
| 場 所 | 開成町民センター中会議室 B |
| 出席者 | 町長、副町長、教育長、部長、参事、課長、室長 |
| 件 名 | 開成町防災訓練についてほか |
| 担当部課名 | 町民サービス部環境防災課ほか |

1. 平成 29 年度開成町防災訓練について

提案理由

1. 平成 29 年度開成町防災訓練について各課で情報を共有する必要があるため

協議事項

1. 平成 29 年度開成町防災訓練について

会議資料

1. 平成 29 年度開成町防災訓練について

主な意見

- 職員の私用自転車をシェアする訓練を行うとのことだが、公用自転車の台数を充足させる考えはないのか？
- 一度に揃えるつもりはない。今年度から計画的に購入している。普段の一日の使用台数は、数台であるため、買い揃えるといってもその程度の台数。
- 11 時終了であるが、職員の待機場所は？
- 管理職と一般職で部屋を分けている。
- 今回、初動期における各班の分担業務の調査があったが、これは次年度の訓練に反映させる狙いなのか？
- ⇒この調査では、一時間以内に登庁できる人数と初動に必要な人数は充足できるという結果になっている。次年度以降、こういったフレキシブルな訓練の実施を検討していく。
- この調査だが、順位付けはしているが、実際は同時並行で進んでいくものもある。一番だけの積み上げで、初動の人数は確保できているというのは違うと思う。
- 初動の段階できっちりやっておくべき業務なのか、ある程度の時間の猶予があるものなのか、時間軸が無いため分からない。各課の目線がバラバラではないか。発災時に自分の役割に専念できるとは限らない。
- 各班のなかでの順位づけであって、全体の中のものではない。トータルの時間軸で見て、危機管理が順位をつけていかなければいけないと思う。
- 組織規模にもよるが、限られた人員のなかで、事業の優先性というものが出てくる。
- あらためて全体としての視点を検証していく。

- 地域防災計画にも影響が出てくる。しっかりと検証していく。
- 昨年は外に災対本部を設置したが、町民センターに置く理由は？
⇒昨年は熊本地震を教訓に屋外に設置した。今年は耐震性が高い町民センターに置くことにした。
- 9月1日には、9都県市の防災訓練がある。危機感、意識を持った計画とするように。毎年同じ訓練になっている。

2. 第30回「開成町阿波踊り」について

提案理由

- 2. 第30回「開成町阿波踊り」について職員間で情報を共有する必要があるため。

協議事項

- 2. 第30回「開成町阿波踊り」について

会議資料

- 2 第30回「開成町阿波踊り」について.

主な意見

特になし